

科目名	ソーシャルワーク演習 V D					単位	2.0
担当教員	鶴田 禎人						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	2327

●授業のテーマ

ソーシャルワーク実習後の、相談援助に係る知識と技術に関するまとめ

●到達目標

相談援助に係る知識と技術について、実際の現場での相談援助実習個別体験をもとに一般化し、実践的な知識と技術として習得する。

●学習内容(授業概要)

相談援助実習における個別的な実習体験をベースに、実践的普遍的な知識と技術として再確認し、さらに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。

●学習内容(授業計画)

- 1 自己紹介 実習の感想
- 2 老人福祉分野の実習報告(1) (特別養護老人ホーム)
- 3 老人福祉分野の実習報告(2) (養護老人ホーム)
- 4 老人福祉分野の実習報告(3) (デイサービスセンター、地域包括支援センター等)
- 5 障害者福祉分野の実習報告(1) (知的障害者援護施設)
- 6 障害者福祉分野の実習報告(2) (身体障害者援護・療護施設)
- 7 障害者福祉分野の実習報告(3) (精神障害者援護施設等)
- 8 児童福祉分野の実習報告(1) (児童養護施設)
- 8 児童福祉分野の実習報告(2) (障害児施設)
- 9 母子福祉分野の実習報告 (母子生活支援施設等)
- 10 地域福祉分野の実習報告 (市区町村社会福祉協議会等)
- 11 社会福祉施設における個別相談援助の具体的実践
- 12 社会福祉施設における地域社会との連絡調整の実際
- 13 社会福祉施設における他施設・分野とのネットワークの実際
- 14 社会福祉施設にいま求められる機能と課題
- 15 まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマ事に、自分の体験した分野での実習との違いや共通点をまとめておく。授業後は、テーマに沿って関連する領域についてさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

[単位認定の方法及び基準]

出席 25% グループワーク 25% 発表内容 50%

●テキスト(必携)

適宜紹介します。

●参考文献／その他
適宜紹介します。

●履修上の注意

毎回出席し、グループでの討議に参加することを通じ、さまざまな意見の存在と自分の意見との違いを認識して下さい。